平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　日本食品化工株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2892　URL　http://www.nisshoku.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 鈴木　慎一郎
問合せ先責任者 (役職名) 主計課長　(氏名) 柳　将一　TEL 03-3212-9112

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	16,242	4.4	1,028	27.3	1,114	32.8	676	25.8
25年3月期第1四半期	15,551	0.6	808	101.7	838	77.0	537	96.1

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　629百万円　(91.3%)　25年3月期第1四半期　328百万円　(151.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	27.48	―
25年3月期第1四半期	21.84	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	41,980	17,572	41.9	714.34
25年3月期	42,852	17,263	40.3	701.76

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　17,572百万円　25年3月期　17,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	13.00	13.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		―	―	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	9.1	1,400	△11.7	1,500	△10.2	1,000	△6.5	40.65
通期	62,000	8.2	1,600	△29.0	1,800	△24.4	1,200	11.6	48.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	32,000,000 株	25年3月期	32,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	7,399,823 株	25年3月期	7,399,403 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	24,600,387 株	25年3月期1Q	24,601,697 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１.当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による景気対策への期待感などから円安基調、株価の持ち直しなど景気回復に向けた兆しが見えつつも、欧州債務問題の長期化、中国経済の先行き懸念、日中関係の影響等により、国内景気の先行きは不透明な状況が続きました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初642.25セント／ブッシェルで始まりましたが、12／13年産とうもろこしの在庫が依然としてひっ迫していることや、13／14年産とうもろこしの米国中西部での低温・多雨による作付遅延から5月中旬には700セント／ブッシェル台まで値を上げました。その後、とうもろこしの作付が進み、中西部の天候も概ね良好であったことから、第1四半期末時点では679.25セント／ブッシェルとなりました。

また、原油相場は期初97.07ドル／バレルで始まりましたが、国際エネルギー機関（ＩＥＡ）による2013年の原油需要見通しの下方修正や中国経済の先行き懸念を受け、86.68ドル／バレルまで値を下げました。しかし、その後、中東での政治的、軍事的な緊張の高まりや対ユーロでのドル安の進行から、上昇傾向となりました。ＯＰＥＣ総会において生産枠が据え置かれると一時的に下落する場面もありましたが、6月下旬以降は概ね90ドル／バレル台後半で推移し、第1四半期末時点では96.56ドル／バレルとなりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は期初52ドル／トン近辺で始まりましたが、中国における鉄鋼製品の供給増・価格下落により鉄鋼原料輸送が鈍化し、50ドル／トンまで下落しました。しかし、米国シェールガスの生産本格化による石炭価格下落に伴い、米国石炭の輸出競争力が上昇したことにより荷動きは増加傾向となり、第1四半期末時点では50～55ドル／トン近辺となりました。

為替相場は期初95.39円／ドルで始まり、日銀の政策決定会合で市場の期待を大幅に上回る量的・質的金融緩和が打ち出されたことから円安が進み、さらに5月のＧ７財務相・中央銀行総裁会議での円安批判の回避などにより、一時104円／ドル台後半となりました。その後、日米の株安や中国経済の先行き懸念からリスク回避の動きが強まり、95円／ドル台まで円高が進みましたが、日米の金融政策の方向性の違いから円安の流れは継続しており、第1四半期末時点では99.59円／ドルとなりました。

このような状況のもと、当社グループは生産効率の改善、製品在庫水準の適正化及び各種コスト削減に継続的に取り組むとともに、前期に引き続き付加価値製品の拡販に注力しました。

販売面につきましては、清涼飲料向け糖化品は昨年に比べ増加して推移したものの、5月及び6月の天候不順によりビール系飲料向けなどの糖化品の出荷が落ち込んだため、全体の販売数量は減少しました。また、澱粉製品につきましては、製紙会社の在庫調整による減産により、製紙向け澱粉の販売数量が減少しました。

収益面につきましては、昨年からの円安により原材料コストが上昇しましたが、販売価格の改定が浸透したことにより、収益は堅調に推移しました。

この結果、当期第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は162億4千万円となり、前年同期比6億9千万円（4.4%）の増収、営業利益は10億2千万円と前年同期比2億2千万円（27.3%）の増益、経常利益は11億1千万円と前年同期比2億7千万円（32.8%）の増益、四半期純利益は6億7千万円と前年同期比1億3千万円（25.8%）の増益となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

（澱粉部門）

澱粉部門は、製紙用澱粉の販売数量が減少したため、売上高は34億2千万円と前年同期比1億8千万円（5.1%）の減収となりました。

（糖化品部門）

糖化品部門は、全体の販売数量は減少しましたが、価格改定により、売上高は105億円と前年同期比7億2千万円（7.4%）の増収となりました。

（ファインケミカル部門）

ファインケミカル部門は、不採算取引の見直しにより、売上高は5億1千万円と前年同期比6百万円（1.3%）の減収となりました。

（副産物部門）

副産物部門は、販売数量は減少しましたが、価格改定により、売上高は17億8千万円と前年同期比1億5千万円（9.8%）の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における総資産は、419億8千万円となり、前連結会計年度末と比較して8億7千万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が11億7千万円増加したものの、短期貸付金が24億円減少したこと等によるものです。また、負債については、前連結会計年度末と比較して11億8千万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等が6億9千万円減少したこと等によるものです。

なお、純資産は175億7千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して1.6ポイント増加し、41.9％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下資金という）の残高は、6億6千万円となり、前連結会計年度末と比較して3億9千万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は19億6千万円（前年同期比10.2％減）となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益10億7千万円から売上債権の増加額11億7千万円、法人税等の支払額8億8千万円及びその他のうち前渡金の増加額9億7千万円を控除した額等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は18億5千万円（前年同期は5億4千万円の使用）となりました。

これは主として、貸付金の回収（純額）24億円から当社工場設備への投資などの有形固定資産の取得による支出4億1千万円を控除した額等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2億9千万円（前年同期は5億7千万円の資金獲得）となりました。

これは主として、配当金の支払額2億6千万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2.サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,068	669
受取手形及び売掛金	11,822	12,995
商品及び製品	3,742	3,797
仕掛品	2,153	2,528
原材料及び貯蔵品	4,754	4,179
繰延税金資産	491	364
短期貸付金	2,400	－
その他	671	1,730
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,102	26,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,207	3,179
機械装置及び運搬具（純額）	5,194	4,990
工具、器具及び備品（純額）	137	131
土地	1,862	1,862
リース資産（純額）	72	66
建設仮勘定	841	915
有形固定資産合計	11,316	11,146
無形固定資産	265	358
投資その他の資産		
投資有価証券	3,156	3,253
長期貸付金	9	8
繰延税金資産	813	759
その他	192	192
貸倒引当金	△3	△4
投資その他の資産合計	4,167	4,210
固定資産合計	15,749	15,714
資産合計	42,852	41,980

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,404	2,455
短期借入金	3,442	3,421
未払金	3,404	3,675
未払法人税等	893	195
賞与引当金	1,084	248
役員賞与引当金	16	2
課徴金引当金	448	474
その他	232	361
流動負債合計	11,926	10,834
固定負債		
長期借入金	9,910	9,910
退職給付引当金	3,168	3,174
役員退職慰労引当金	20	―
長期未払金	132	62
資産除去債務	379	379
その他	52	46
固定負債合計	13,662	13,573
負債合計	25,588	24,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	328	328
利益剰余金	16,974	17,331
自己株式	△2,145	△2,145
株主資本合計	16,757	17,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267	301
繰延ヘッジ損益	161	96
為替換算調整勘定	77	61
その他の包括利益累計額合計	505	459
純資産合計	17,263	17,572
負債純資産合計	42,852	41,980

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	15,551	16,242
売上原価	12,599	13,029
売上総利益	2,952	3,212
販売費及び一般管理費	2,144	2,183
営業利益	808	1,028
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	36
持分法による投資利益	54	69
試作品売却益	3	15
受取ロイヤリティー	－	0
受取保険金	7	13
その他	11	14
営業外収益合計	101	149
営業外費用		
支払利息	63	48
固定資産除却損	1	15
その他	5	1
営業外費用合計	71	64
経常利益	838	1,114
特別損失		
投資有価証券評価損	－	7
弁護士報酬	8	6
課徴金引当金繰入額	－	25
特別損失合計	8	39
税金等調整前四半期純利益	830	1,074
法人税、住民税及び事業税	213	194
法人税等調整額	79	203
法人税等合計	293	398
少数株主損益調整前四半期純利益	537	676
四半期純利益	537	676

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	537	676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	34
繰延ヘッジ損益	△127	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	△68	△15
その他の包括利益合計	△208	△46
四半期包括利益	328	629
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	328	629
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	830	1,074
減価償却費	463	449
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△19	△20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△16	6
投資有価証券評価損益（△は益）	－	7
受取利息及び受取配当金	△24	△36
支払利息	63	48
持分法による投資損益（△は益）	△54	△69
固定資産除却損	1	15
弁護士報酬	8	6
課徴金引当金繰入額	－	25
売上債権の増減額（△は増加）	△2,364	△1,172
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,217	144
仕入債務の増減額（△は減少）	△60	50
その他	391	△1,604
小計	△2,000	△1,075
利息及び配当金の受取額	25	37
利息の支払額	△64	△48
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△150	△880
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,190	△1,966
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△545	△411
無形固定資産の取得による支出	△0	△116
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
短期貸付金の純増減額（△は増加）	－	2,400
長期貸付金の回収による収入	0	1
その他	3	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543	1,858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	700	－
長期借入金の返済による支出	△21	△21
自己株式の取得による支出	－	△0
配当金の支払額	△100	△262
リース債務の返済による支出	△5	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	572	△290
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,160	△398
現金及び現金同等物の期首残高	3,271	1,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,111	669

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。